

『もりおかの短歌』秋の部

〈一般部門〉 優秀賞十首

伝統でんとうのチャグチャグ馬うまコ

フランスで鈴すずの音鳴ねらし

シヤンゼリゼをゆく

盛岡市 小林貴史

枯かれ葉埋はうずむ高洞山たかほらやまの登山路とざんろに

ぬた場現ばあらわれ

鹿しかの気配けはいす

盛岡市 岩館公子

不こ来方ずかたの

城しろの枿とちの実みを薬酒やくしゆとす

秋あきの喜よろこび秋あきの愉たのしみ

盛岡市 林浩子

しろあと いちよう もみじ
城跡に銀杏の黄葉

ち かひ さわ
散りしとき歌碑に触りて

かる おとた
軽く音立つ

奥州市 遠藤カオル

たくぼく
啄木になりしつもりで

そらあお てんさい くも
空仰ぎ天才の雲と

かた たの
語らうは楽し

盛岡市 小林貴史

たくぼく こみち
啄木の小径に

とつじよ
突如カモシカが

すがたみ あき いわやま
姿見せけり秋の岩山

盛岡市 鈴木充

ねえ こえ ごっほご
わんこそば姉さんの声でもう一杯

きふだ
木札にぎりしめ

おなかかかえる

東京都荒川区 川真田ゆう

きたかみがわ いっぴつせん
北上川の一筆箋に

よみがえる 逆波立ちし
さかなみ た

わか ひ こい
若き日の恋

千葉県四街道市 宮野俊洋

せいりゆう さけ なかつがわ
清流を鮭がのぼりくる中津川

れきし
歴史をきざむ

さんばし
三橋のあり

盛岡市 照井時彦

きたかみ みなも
北上の水面きらめき

よみがえ
甦る

わか ひ きみうた よ こえ
若き日の君歌を詠む声

東京都練馬区 土肥千代子

『もりおかの短歌』秋の部

〈ジュニア部門〉 優秀賞

(応募時、中学生以下に限る)

該当なし

【講評】

一般部門・ジュニア部門

好季節の秋ですが、今年はコロナウイルスの流行で多くの人々が旅行や不要不急の外出を控えた印象を強くいただきました。それでも「秋の部」の応募総数は1111通に達しました。チャグチャグ馬コがパリのシャンゼリゼ通りのパレードに参加し、日本の馬っこ文化の凱旋としてニュースになったことも、花を添えてくれたことと嬉しく思います。

令和四年十二月選 秋の部

投稿数 百十一首

選者 松田 久恵